

ぶうげんびりあ9月

2021年 9月号 No.267

<https://ainohamajiaikai-k.or.jp/>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL:54-8011 FAX:54-8012

No.1



まだまだ暑い日が続いていますが、朝夕は少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。さて、9月はモニタリングの時期になります。4月に立てた個別支援計画を振り返りながら、利用者本人も含めて話し合いを行います。数名の職員を目の前に、緊張して俯いてしまう方や「外出したい」「家族に会いたい」等自分の気持ちを伝える方など、様子は一人ひとり違います。鹿児島が「まん延防止等重点措置」、奄美大島も「警戒レベル5」と厳しい状況が続く中、利用者の皆さんには状況を説明しながら理解を求めています。いろいろと制限はありますが、モニタリングでしっかりとニーズの確認をして、10月からの個別支援計画に繋げ、少しでも安心して楽しく過ごせるようにしていきたいと思ひます。(副主任:大田)

9月行事予定表

- 1日(水): 体重・血圧測定
- 2日(木): 女性心電図
- 3日(金): 夕涼み会
(秋のお食事会)
- 8日(水): 男性心電図(GH)
- 13日(月): 男性心電図(施設)
- 14日(火): 音楽の日
- 16日(木): 敬老会
- 22日(水): 健康相談

実習生との交流

6月から7月にかけて、5名の奄美看護福祉専門学校の学生が実習にきました。障害者施設は初めての事で初日はやや緊張した様子でしたが、利用者さんからの積極的なアプローチで自然に溶け込み、なじんでいきました。そして、最終日は実習生からのレクリエーションです。職員からアドバイスを受けながら、ボールを使ったゲームや歌遊びなど多彩なレクを考え、利用者さんを楽しませてくれました。10日間の実習でしたが、就労継続支援B型・生活介護・施設入所を体験し、いろいろ学ぶことが多かったと話してくれました。実習生の皆さんがこの経験を今後に生かし、頑張ってくださいと思います。(記事:佐々木)



HAPPY BIRTHDAY
おたんじょうひ
おめでとう!



高 由香さん



境 秀行さん



橋田 忠治さん



田畑 栄さん



濱手 輝代さん

愛の浜園運動会への思い

運動会中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、利用者さんの健康を第一に考え、中止することと決定いたしました。状況に応じて、利用者さんが楽しむことができる活動などを検討していきたいと思ひます。来年は皆様と愛の浜園運動会を開催できることを、また、コロナの終息を願いつつお知らせいたします。(愛の浜園運動会係より)



月間三賞受賞者

<努力賞>

- ・永田 三十六さん…就労で得た工賃の管理、買い物ができるています。
- ・岩切 正さん…朝の身嗜みを自主的に取り組む事ができました。
- ・伊元 サチ子さん…生活介護の活動で足漕ぎを頑張っています。
- ・朝谷 テツミさん…就労Bで紬を一反(約13M)織りきる事ができました。
- ・郁 一男さん…就労Bで七夕飾りの作成に集中して取り組む事ができました。
- ・高 由香さん…就労Bでの作業でストックヤードのトイレ掃除を頑張っています。
- ・幸 裕次郎さん…約束事(就寝時間を決める等)を守っています。
- ・政 みさ子さん…毎日のラジオ体操を頑張っています。
- ・森山 義範さん…棚の整理整頓やシーツ交換を頑張っています。
- ・猿渡 明弘さん…スマイル班でのリハビリ体操を最後まで楽しく取り組んでいます。
- ・碩 友美さん…落ち着いて自治会に参加する事ができました。
- ・中田 信枝さん…居室の掃除を頑張っていました。
- ・里 優子さん…食堂で下膳の順番を待つ事ができました。
- ・定原 たず子さん…市役所へ行き、落ち着いて手続き(名前を書く等)する事ができました。
- ・池田 ヨシエさん…ワクチン接種後も体調を崩す事なく、元気に活動に参加できています。
- ・田畑 栄さん…ヘルスタイムの軽体操に初めて参加しましたが、楽しんで参加する事ができました。

<親切賞>

- ・満林 アツ子さん…食堂で落ち着かない利用者に対して優しく接してくれました。
- ・積 幸博さん…受診で買い物に出た際、購入したおやつを皆に配ってくれています。
- ・岡山 いずみさん…他利用者を優しく居室まで連れて行ってくれました。
- ・森山 真智代さん…同室者が夜間困っていると、コールをして職員を呼んでくれました。

<奉仕賞>

- ・朝谷 テツミさん…フレンドにてみんなの事を考えた献立を提案してくれました。
- ・西 順子さん…就労Bの作業で、港公園のトイレ掃除をととも丁寧に取り組む事ができました。
- ・政岡 りつ子さん…フレンドにて食後のリビング、テーブルの掃除に取り組んでいます。
- ・窪田 健太さん…食後、手すりやテーブルの拭き掃除を頑張っています。
- ・森山 真智代さん…率先して七夕飾りの創作をしてくれました。
- ・岩越 タツヨさん、稲田 吉浩さん、竹田 美喜子さん、圓 初代さん、猿渡 明弘さん…カフェタイムでコップを洗ったり、拭いたりする事を自主的に行ったり、声掛けでやる気を出して手伝いをしてくれます。

愛の浜園に聖火がやってきた！～東京2020パラリンピック聖火ビジット開催～

令和3年8月13日、愛の浜園で、聖火ビジットのイベントが行われました。これは、鹿児島県の実行委員会が主催し、令和3年8月12日に県庁で採火した種火をいくつかのランタンに分けて県内の障がい者施設16カ所を訪問するイベントで、奄美大島関連では愛の浜園が唯一選ばれました。当日はコロナウイルス感染対策をしっかりとした上で、県庁の職員によって園長室にランタンが届けられました。愛の浜園では、いつも園の行事を盛り上げてくれる坂井 文也さんがパラリンピックののぼり旗を持ち、聖火のランタンをゆうあいスポーツ大会でも活躍している永田 三十六さんが持って、職員の田原さんのサポートのもと、皆さんの前に入場しました。このような場に慣れているお二人の堂々とした入場で、一気にその場の雰囲気も盛り上がり、利用者さん、職員から盛大な拍手が沸き起こりました。聖火ビジットイベントが終わった後には、利用者さんそれぞれ、ランタンと写真撮影も行い、とても貴重な時間となりました。(8月14日の南海日日新聞、奄美新聞にも掲載されました。)愛の浜園に届いた種火は、8月20日に東京都で集火式があり、全国から集められた種火とパラリンピック発祥の地とされる英国のストークマンデビルの種火を合わせて、パラリンピックの聖火となったそうです。鹿児島県庁では、聖火ビジットに参加した施設の利用者、県庁の来訪者などが描いたメッセージリボンで「絆」の文字を作り、展示されています。愛の浜園の利用者、職員の気持ちが選手の皆さんに届くといいなあと思います。頑張れニッポン！！(記事:富田)



聖火ランタンランナー：
永田 三十六(ながた みとむ)さん 66才

パラリンピックのぼり旗・旗手：坂井 文也(さかい ふみや)さん 63才



7月・8月の愛の浜園



世界に1つだけの...～利用者さんの個性をカタチに～

普段からお絵かきが大好きな酒井 真希(さかい まき)さん。時々ハツとするような色遣いをしている絵もあって何かに活かす事はできないかとずっと考えていました。ふと、Tシャツにしてみてもどうかと思いつきご本人と相談し、さっそく作ってみました。他利用者からも職員からも好評で紹介された時は真希さんは人前に立ってTシャツを指差し笑顔で手を振るというモデルを務めました。愛の浜園の「いつもの日常が戻る」事を祈念する小さな活動の一つをご紹介します。(記事:牧口)

